

学位論文申請手続きのマニュアル

博士甲号

正規修了者(4年間)

早期修了者(3年以上4年未満)

久留米大学 大学院医学研究科

博士の学位申請においては、審査から学位記授与まで最短4ヶ月かかります。審査を受けるには、少なくとも主論文1編および参考論文1編の計2編を完成させ、申請書一式と共に提出する必要があります。当該年度で退職される教授が指導教授や主査となる場合は、早めに申請手続きを開始してください。

1. 学位申請の条件

久留米大学には5つの大学院研究科があり、医学研究科では、博士（医学、医学バイオ統計学、看護学）、および修士（医科学、看護学）の学位の取得が可能。博士号取得には2つの方法があり、標準修業年限（4年）博士課程に在籍し、必須要件を満たして学位を取得する場合の課程博士（甲号）、もしくは大学院に在籍せず研究歴とその他要件を満たして論文を完成させる論文博士（乙号）がある。過程博士（甲号）については、規程上①正規修了者（4年）、②早期修了者（3年以上4年未満）、③在学期間延長者・単位修得満期退学者に分類され、学位申請手続きやスケジュールが異なるため、庶務課学位担当者に確認して準備を進めること。

2. 論文提出手続き締め切り及び提出先

①正規修了者（4年間）の場合：

原則として卒業予定年度の11月末より申請を受け付ける。博士の学位申請においては、審査から学位記授与まで最短4ヶ月かかるため、余裕を持って準備を進めること。学位記授与は同年度3月末（例：2020年3月卒業予定の場合、2019年11月末より申請可能）

②早期修了者（3年以上4年未満）の場合：

早期修了には、在学期間中に休学期間がないこと、学位論文がインパクトファクターのある査読付きの学術誌への掲載が条件となります。なお、4年未満で学位を取得される場合、一旦納入された学費が返納されません。詳細は医学部庶務課学位担当者にお問合せください。

3. 学位申請のスケジュールと下書きチェックについて

本提出の前に、下記「3. 提出書類」を準備し、下書き点検を受けること。提出書類の下書き一式準備後、印刷し、主論文・参考論文各1部と共に医学部事務部庶務課（教育一号館2階）Tel：0942-31-7527（ext:3014）学位担当者へ提出し、清書時の注意点や申請の流れの説明を受けること。なお、主論文が共著（申請者が筆頭著者）の場合は、大学院医学小委員会（毎月初旬に開催）での審議が必要になるため、申請の準備を始める段階で、庶務課学位担当者に申請のスケジュールや提出期限を確認すること。

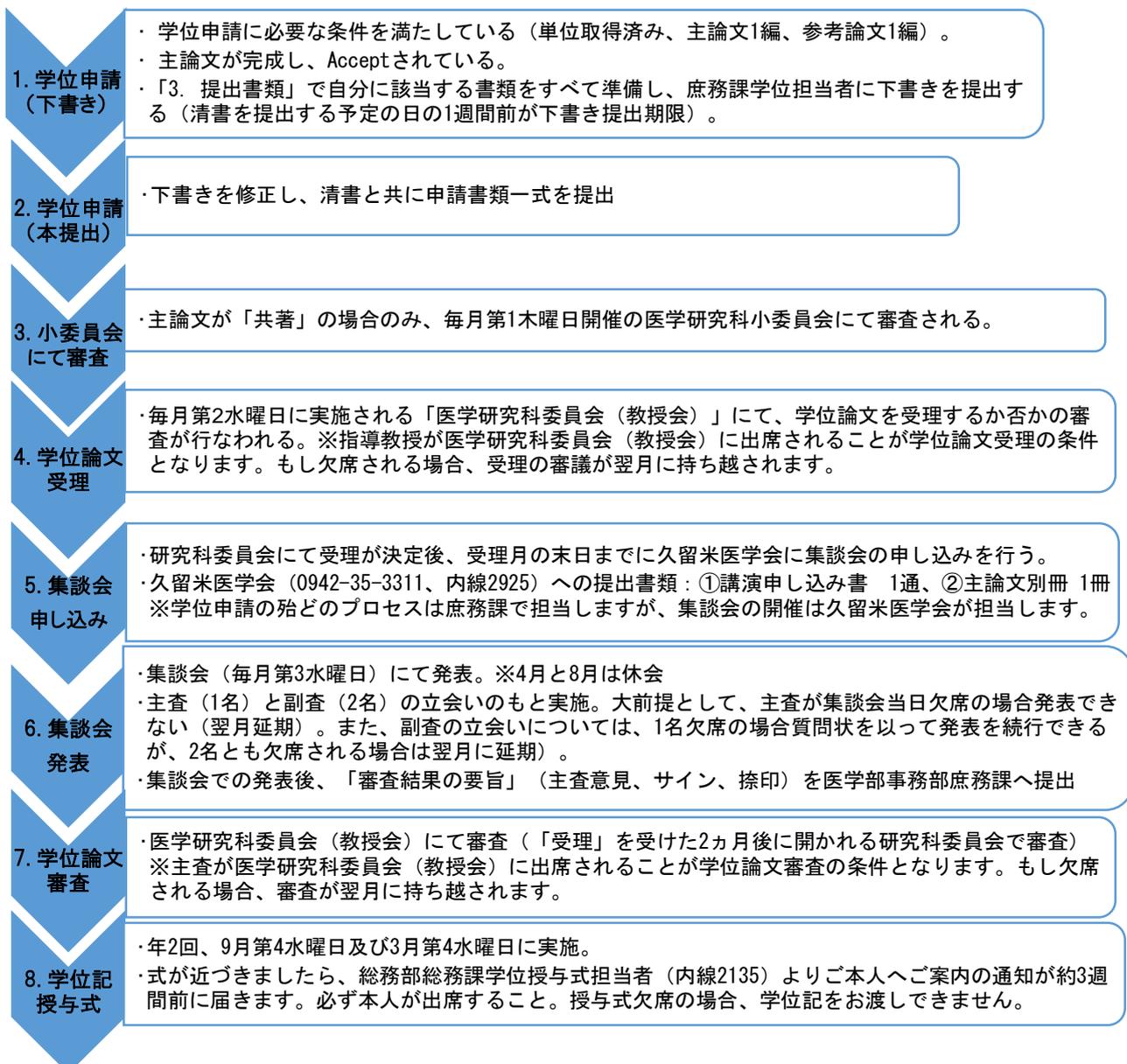
4. 提出書類一式 【記入例を参考に、PCで作成すること】 ※白紙で提出をお願いいたします。

規程書式	書類名	部数	詳細
様式1	学位論文審査願（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式2	論文目録（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式3	論文要旨（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式4	履歴書（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
あり	主査及び副主査推薦書（HPよりダウンロード）	1	指導教授に主査及び副主査を推薦していただき、下書き点検時に提出下さい。※注意「審査を受けようとする時は、指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。」（久留米大学大学院医学研究科学学位規則施行細則第7条3項抜粋）
なし	主論文1編の別冊（印刷公表済のもの）PDF可、できればデータで提出	4	印刷公表済の主論文別冊もしくは参考論文別冊（データ可）を申請時に提出できない場合は、ゲラ（校正）刷り、もしくは論文原稿の写しに投稿掲載証明書（accept letter）を添えた形で受け付ける。但し、学位記授与式までに主論文別冊と参考論文別冊未提出の場合、同日学位記を返還していただき、別冊が出来次第、別冊の提出をもって授与されます。
なし	参考論文1編以上の別冊（印刷公表済のもの）PDF可	各2	

あり	承諾書・誓約書 (HP よりダウンロード)	1	学位論文は原則単著論文 (著者一人) ですが、「学位申請の取扱いについて (申し合わせ)」(ホームページよりダウンロード可) により共著論文 (著者複数名) も学位論文として認められています。その場合、書式をダウンロードし提出してください。共著者が日本人でない場合、英語の承諾書の様式を使用してください (ホームページよりダウンロード可)。
あり	共著論文内容における申請者の役割についての証明 (HP よりダウンロード)	1	
あり	単位習得 (取得) 証明書		正規修了者ならびに早期修了者は、学位担当者が教務課より直接取得しますので不要です。
—	写真 4cmX3cm (カラー・白黒いずれも可)	1	正装 (スーツ・ネクタイ着用) のこと。白衣は不可。裏に氏名を記載すること。
あり	久留米大学機関リポジトリ登録申請・許諾書 (HP よりダウンロード)	1	学位申請前に出版社に著作権ポリシーを確認し、博士論文インターネット公表を行うために必要な利用許諾をご自身で得てください。
あり	主論文の電子媒体 (PDF ファイル) ・主論文の著者最終版	1	機関リポジトリ登録用 (メールで庶務係学位担当へ送付) Figure・Table 等は 1 つのファイルにして下さい。
あり	審査要旨の結果	1	集談会発表後に庶務課学位担当者へ提出

※主論文が、人または動物を対象とした研究の場合や、遺伝子組換えを行った研究の場合には、承認書あるいはそれに準じた書類を提出してください (令和 5 年 3 月 9 日大学院医学研究科委員会承認)。「学位申請の取扱いについて (申し合わせ)」を参考のこと。

5. 課程博士 (甲号) 申請から学位授与までの流れ



甲様式 1

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学学長 ○ ○ ○ ○ 殿

指導教授 ○ ○ ○ ○ ⑩

医学研究科 系専攻

平成 年入学

氏名 ○ ○ ○ ○ ⑩

学位論文審査願

「医学」「医学バイオ統計学」「看護学」の何れかを入力

このたび久留米大学学位規則第4条第3項により博士（ ）の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査下さい。

記

- 1. 主論文 ○ 編 ○ 冊 (例：1編1冊)
- 2. 参考論文 ○ 編 ○ 冊 (例：1編1冊)
- 3. 論文目録
- 4. 論文要旨
- 5. 履歴書
- 6. 単位修得（取得）証明書

医学研究科委員会受理
医学研究科委員会審査

甲様式 4

甲第

空欄

号

ここに記入されたとおりの名前、本籍地、生年月日が学位記に記載されるので、戸籍通り正確に記載すること。例) 高・高、崎・崎、邊・邊 等

履 歴 書

何れかを○印で囲む

氏 名 ○ ○ ○ ○ 男
(ふりがな) ○○ ○○ ○○ ○○ 女

生年月日 昭和／平成 ○○年○○月○○日 生

本 籍 ○ ○ ○ 県

現 住 所 ○○県○市・郡○○○町・村○○○番地

学 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○大学○○学部○○学科卒業

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学大学院医学研究科

○○系専攻博士課程入学

入学・修了などは正式な年月日を記載するこ

- 休学期間がある場合
 - 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 休学
 - 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 復学
 - 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第4年次在学中
- 満期退学の場合
 - 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 単位修得満期退学

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

清書提出日の年月日、手書き可

必ず自署、要押印

氏 名 ○ ○ ○ ○ ○ 印

主査及び副主査推薦書

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科

科長 ○ ○ ○ ○ 殿

申請者、 ○ ○ ○ ○ 氏の主査及び副主査を下記のとおり推薦いたします。

主査 ○ ○ ○ ○ _____

副主査 ○ ○ ○ ○ _____

副主査 ○ ○ ○ ○ _____

指導教授に推薦して頂く。
手書き可

清書提出日もしくはそれ以前の年月日、手書き可

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

指導教授名 ○ ○ ○ ○ ④

必ず自署、要押印

注意点：

1. 論文の審査委員は主査1名、副主査2名とする。
2. 指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。
3. 主査は本学医学研究科教授であること、副査は本学・学外教授（准教授も可）
4. この推薦書で以って研究科委員会にて審査委員を決定する。

主論文が共著の場合のみ必要。
該当する場合、共著者全員から「承諾書・誓約書」に署名をいただく必要があります。（主論文が単著の場合は提出不要）

記入例

承諾書

手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科
科長 ○ ○ ○ ○ 殿

主論文が英文の場合は
必ず和訳を入れること。

論文題名

(○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
和 訳)

学術雑誌名

○ ○ ○ ○

略誌名ではなく正式な雑誌名を
記載すること。

第 卷 , 頁 ~ 頁 , 年

上記論文を ○ ○ ○ ○ 氏が久留米大学医学博士の学位申請論文として提出すること及び学位の授与後、インターネット上で公表することを承諾します。

なお、私共当該論文を学位論文として過去において使用したことがなく、また、将来においても使用しないことを誓約します。

申請者氏名 印

共著者氏名 印

// 印

// 印

// 印

// 印

共著者氏名は必ず自署のこと。
1枚にまとめる必要はなく、共著者が複数の場合は、必要枚数コピーすること。

主論文が共著の場合のみ必要
該当する場合、役割の証明が必要です。
(主論文が単著の場合は提出不要)

記入例

共著論文内容における申請者の役割についての証明

申請者氏名 ○ ○ ○ ○

氏名 役割(簡条書き)

○○ ○○ ○○○○、○○○○、○○○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○

※ 申請者も含め、共著者全員の役割分担を具体的に記載すること。

(例) 実験課題発案、実験計画立案、実験遂行、実験遂行補助、実験モデル作成、実験指導、実験検体採取・管理、特別な実験器具・研究に必須の試薬提供、結果解析、結果考察、データベース作成、データ保存と管理、論文作成、論文執筆指導、実験統括、等。

(注) 「英文校正」や「最終承認」のみは、共著の役割として不適切です。

※ 英語版の役割証明依頼の文案はウェブサイト上からダウンロード可能。

※ 共著者の氏名表記は、承諾書 誓約書のサインと同じであること。

例) 久留米 太郎 ≠ 久留米 太朗
久留米 次郎 ≠ 久留米 二郎
高 ≠ 高
崎 ≠ 崎

上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

指導教授の氏名は必ず自署のこと。

清書提出日もしくはそれ以前の年月日、手書き可

指導教授名 _____ (印)